

CITIZEN®

BETTER STARTS NOW

シチズンからのメッセージ

シチズンは1918年の創業以来、「市民に愛され親しまれるものづくり」を実践し、腕時計を通じて人々の生活に「驚き」や「快適さ」など、より良い「何か」を届けるために、挑戦を繰り返してきました。

1970年、人が身に着ける腕時計の理想素材として世界で初めてチタニウムを採用した腕時計を発売し、現在もユーザビリティの追求を続けています。1976年には、「光」を電気エネルギーに変えて「時」を刻む「エコ・ドライブ」という独自の技術を開発。地球上どこでも光さえあれば動き続けるこのシステムは、言い換えれば「世界中の市民が平等に使える時計」であり、シチズンの企業精神の本質であるともいえます。

そして、1993年に世界初の多局受信型電波時計、2011年には世界初の光発電衛星電波時計を発売し、この分野のパイオニアとして正確な時を刻むためのテクノロジーを進化させ続けています。

ここバーゼルワールドにおいては、エコ・ドライブが象徴するシチズンの「光」と「時」の探求を、言語を越え、より多くの方々に魅力的に感じていただくために、2013年よりインスタレーションを展示してまいりました。時計の全ての部品を支える基盤部品「地板」を使い、「光」と「時」を開かれた空間で表現すること。それは、私たちが誰にとっても開かれたブランドであり、部品から完成時計まで自社で製造できるマニュファクチャールであるからこそ実現できたことだと自負します。この壮大で美しいインスタレーションは、バーゼルワールドでのブランド表現のあり方に一石を投じ、私たちの挑戦の姿勢を明確にすることができました。そして何より、毎年多くのお客様に私たちが提供する空間でのひと時を楽しんでいただいていることを大変嬉しく思います。

創業以来変わらない挑戦の姿勢を、新たなブランドステートメント“Better Starts Now”「どんな時であろうと『今』をスタートだと考えて行動する限り、絶えず何かをより良くしていくのだ」として掲げ、これからも私たちは多くのお客様により良い時計を身に着けていただけるように時計の未来を切りひらく挑戦を続けていきます。

これからのシチズンにご期待ください。

戸倉 敏夫

シチズン時計株式会社

代表取締役社長

戸倉 敏夫